

2024年度開催

Waffle Festival 2024

開催レポート

はじめに

IT分野のジェンダーギャップの解消を目指す特定非営利活動法人Waffleは、2024年5月25日（土）・26日（日）に女子およびノンバイナリーの中高生・大学生を対象としたテック・カンファレンスである「Waffle Festival 2024」を主催しました。本イベントは、ITの進路を知る・体験する・自分の進路を考えるきっかけとなるイベントとして、東京・原宿のリアル会場とオンラインのハイブリットにて開催しました。

参加者からは「IT系を目指す女子がこんなにいるんだということに驚いた」「ワークショップでは集中していたため、2時間があっという間だった」「ITは数学や学歴がないと関係がないものと思っていたが、ITを身近に感じる事が出来た」「また参加したい」といった声がありました。

Waffle Festival 2024 開催の背景

日本は、国際学力調査PISAにおいて常にトップレベルのスコアにも関わらず、科学・工学分野の職業を希望する女子生徒が3.4%と、OECD加盟国では最低の水準です。「女の子だから文系の進路に進みなさい」といった周囲からの言葉や「テクノロジーに関心はあるが、自分には向いていないのではないか」といったジェンダー観に起因する固定観念に影響され、将来の可能性が狭められている現状があります。これまでWaffleは、それらの課題を解決するべく、女子およびノンバイナリーの中高生・大学生にIT・キャリア教育の機会を提供してきました。その中で、学生の周りにロールモデルとなる存在が少ないことや、ITに関する仕事の具体的なイメージや、キャリアについて知る機会が少ないことに問題意識を持つ

ています。Waffle Festivalを通じて、参加者たちに、ITに関する仕事や学びを知る機会を提供することで、周囲から求められる枠を超え、デジタルを使いこなしながらグローバル規模で自らの道を切り拓いていけるよう後押ししたいと考え、本イベントを開催する運びとなりました。Waffle Festivalは、全国の女子およびノンバイナリーの中高生・大学生を対象にこれまでオンラインで2回開催しました。3回目となる今年は、対面型を加えたハイブリッド形式として初開催となりました。

Waffle Festival 2024 開催概要

名称：Waffle Festival 2024（ワッフルフェスティバル 2024）

期間：2024年5月25日（土）～5月26日（日）10:00-17:00

場所：WITH HARAJUKU（東京都渋谷区）

参加費：無料

参加対象：女子およびノンバイナリーの中高生・大学生
（高専生、専門学校生、大学院生を含む）

テーマ：私の未来は、テックとともに、手に入れる

※25日（土）は、Waffleが日本国内の公式アンバサダーを務める、世界最大級の社会課題解決型アプリ開発コンテスト「Technovation Girls（テクノベーション・ガールズ）」の日本公式ピッチイベントを開催しました。同プログラムに関しては、当該レポートをご参照ください。

2024年度の取り組みについて

対面開催としての新たな取り組みとして、3つのワークショップを実施しました。（プログラミングワークショップ／ジェンダーに関する固定概念に気づくセッション／アイデア提案型ワークショップ）また、Waffleでテクノロジーを学んだWaffle Collegeの卒業生有志計6名による技術協力を得ました。Waffle Festivalのランディングページ製作<

<https://waffle-festival.com/>> およびイベント期間中のインスタグラム動画の製作<

https://www.instagram.com/waffle_org/> は大学生によるものです。Waffle Festivalのランディングページのイメージは以下の通りです。



ABOUT

Day 1 2024.05.25(土)

「Techovation Girls (テクノベーションガールズ)」
日本公式イベント

Day 2 2024.05.26(日) (祝祭日)

「Waffle Festival 2024」
セッション＆ワークショップ

Access

- 注意事項
- 18歳以上 (当日のTechovation Girls 日本公式イベント) 参加者として参加する場合は、必ず本人の顔写真を写し、プロフィール登録を完了してください。
 - 会場は、当日のワークショップ会場、展示会場は別々です。チケットを購入して会場に入場してください。
 - 会場は、当日のワークショップ会場、展示会場は別々です。チケットを購入して会場に入場してください。
 - 会場は、当日のワークショップ会場、展示会場は別々です。チケットを購入して会場に入場してください。

MESSAGE

「わたしの未来は、テックとともに、手に入れる」
2024年5月25日(土) - 26日(日)に開催される「Waffle Festival 2024」は、女子＆ノンバイナリーの中高生・大学生のためのフェスティバルです。ITの仕事や学びがまるごとわかる！

「わたしの未来は、テックとともに、手に入れる」
2024年5月25日(土) - 26日(日)に開催される「Waffle Festival 2024」は、女子＆ノンバイナリーの中高生・大学生のためのフェスティバルです。ITの仕事や学びがまるごとわかる！

「わたしの未来は、テックとともに、手に入れる」
2024年5月25日(土) - 26日(日)に開催される「Waffle Festival 2024」は、女子＆ノンバイナリーの中高生・大学生のためのフェスティバルです。ITの仕事や学びがまるごとわかる！

TIMETABLE

Day 1 2024.05.25(土)

Techovation Girls日本公式イベント 日

Day 2

セッション＆ワークショップ

| 時間 | セッション | ワークショップ |
|-------|---|---|
| 10:00 | 10:00-10:20 Welcome to Waffle Festival! | 10:00-10:20 セッション&ワークショップ |
| 10:20 | 10:20-10:30 テックとともに、未来を手に入れよう | |
| 11:00 | 11:00-11:30 Waffle College 観覧会 | |
| 11:40 | 11:40-12:00 アメリカ産産に聞く！ 米国留学の心 | 11:00-12:00 パソコンを遊ぶワークショップ プロダクトデザインワークショップ |
| 12:30 | 12:30-12:50 AIと生きる、AIを学ぶ | |
| 13:00 | 13:00-13:30 自分らしく、仕事を楽しむ | 13:30-14:00 美びょう 美びょう |
| 14:00 | 14:00-14:30 わたしがエンジニアになるまで | |
| 14:30 | 14:30-15:00 文系からエンジニアへ | |
| 15:00 | 15:00-15:30 エンジニアを目指すためのロードマップ！ 「わたしはエンジニア」 | 15:00-15:40 パソコンを遊ぶワークショップ 美びょうを学ぶ理由 |
| 16:00 | 16:00-16:30 未来を課題を解決！ アイデアワークショップ | |
| 16:30 | 16:30-17:00 卒業生インタビュー | |
| 17:00 | | |

Featured Contents



Waffleスタッフ「無し」の展示やゲーム型ワークショップ、留学相談ブースも！



VOICE

過去の参加者の声

- 実際に企業から話を聞いたのが面白かった。いろいろな企業と話をすることができて良かったです。
- 仕事探しに悩んでいました。プロダクトデザインの仕事、自分のやりたいことを仕事にするまでの過程が非常に面白かったです。
- 一日の勉強も楽しかった。参加した企業やイベントも面白かった。この日は広い分野から、自分のやりたいこと、興味を持てるものがたくさんあるのが良かったです。
- 私自身、どちらかというと文系だと思っていたけど、プロダクトデザインは面白かった。興味を持ってみたいと思ったので、参加したのが良かったです。参加したのが良かったです。

NEWS

- 2024.04.11
アーティストとエンジニア、東京駅南口デザイン科展覧会「スフィア」に、またの開催が決定しました！詳しくはメディアページをご覧ください。
- 2024.04.08
卒業生インタビュー開催のお知らせ「Techovation Girls 2024 日本公式イベント」のオンライン開催記念フォーラムがオープンしました！詳しくはメディアページをご覧ください。
- 2024.03.29
Waffle Festivalを開催しました！

開催結果

今年度は合計263名が事前参加登録をし、うち55%がオンライン参加、45%が会場参加希望者でした。これまでの開催実績と今回の実績は以下の通りです。

| 開催日 | 参加登録者数（オンライン） | 参加登録者数（会場） |
|-----------------------|---------------|-------------|
| 2021年11月28日 | 207名 | N/A |
| 2022年12月16日～17日 | 250名 | N/A |
| 2024年5月26日（今回） | 144名 | 119名 |

Waffle Festival 2024の原宿会場ではメインホールにて主に講演、リフォークルームにて主にワークショップ、ホワイエにて参加型ブースをそれぞれ展開しました。それぞれの参加者数は以下の通りです。

| Waffle Festival 2024 | のべ数（人） | 1セッション平均（人） |
|----------------------|--------|-------------|
| 参加者数（会場） | 453 | 28.3 |
| 参加者数（オンライン） | 210 | 26.2 |

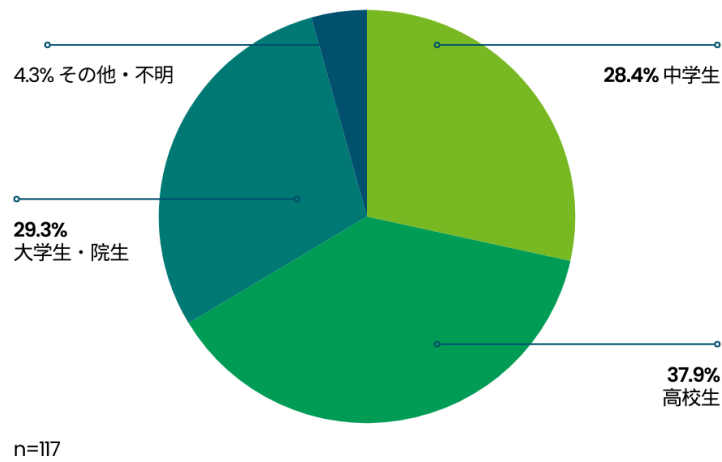
（上記の数は、各セッション開始10分後の人数を計測したものです。）

参加者について

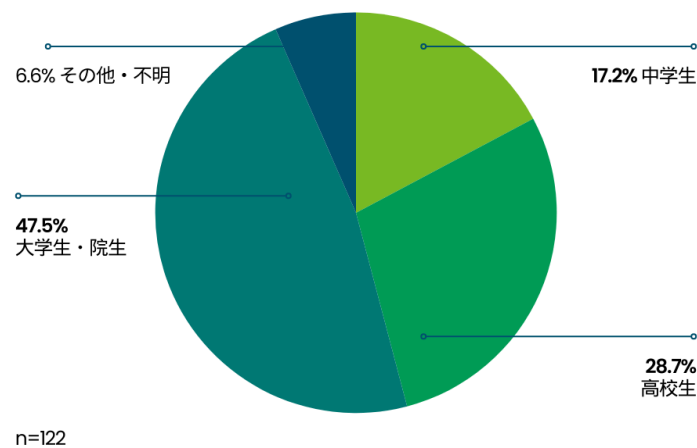
現地参加は高校生が最多、オンライン参加は大学生・院生が最多

①学年別

現地参加申込者の学年別内訳



オンライン参加申込者の学年別内訳



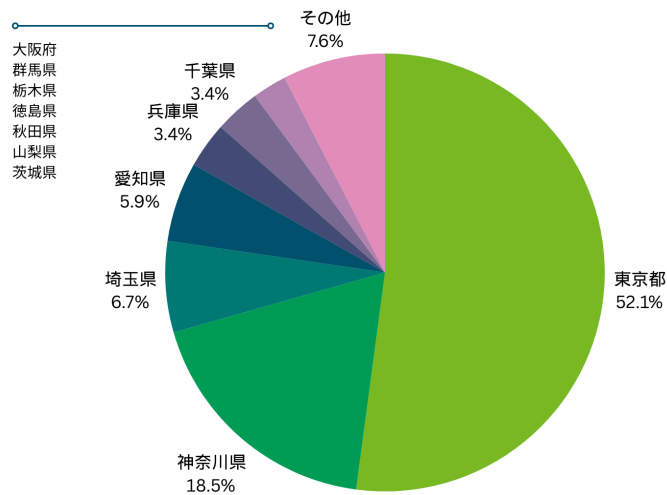
現地参加申込者（n=117）の37.9%は高校生、次いで大学生・院生、中学生と続きました。オンライン参加申込者（n=122）の47.5%は大学生、次いで高校生・中学生と続きました。学年別内訳は下記の表の通りです。高校1年生が最も多く（35名）、次いで中学2年生（26名）、高校2年生および大学1年生（それぞれ24名）と続きました。現地参加の最多は高校1年生（23名）、オンライン参加の最多は大学1年生でした（16名）。受験などを経て、進路やキャリアを考える段階の学生が参加したことが見受けられます。

参加申込者の学年別内訳

| 学年 | 現地 | オンライン |
|--------|----|-------|
| 中学1年生 | 5 | 5 |
| 中学2年生 | 19 | 7 |
| 中学3年生 | 10 | 9 |
| 高校1年生 | 23 | 12 |
| 高校2年生 | 9 | 15 |
| 高校3年生 | 12 | 8 |
| 大学1年生 | 8 | 16 |
| 大学2年生 | 2 | 11 |
| 大学3年生 | 4 | 7 |
| 大学4年生 | 12 | 11 |
| 大学院生 | 8 | 13 |
| その他・不明 | 5 | 8 |

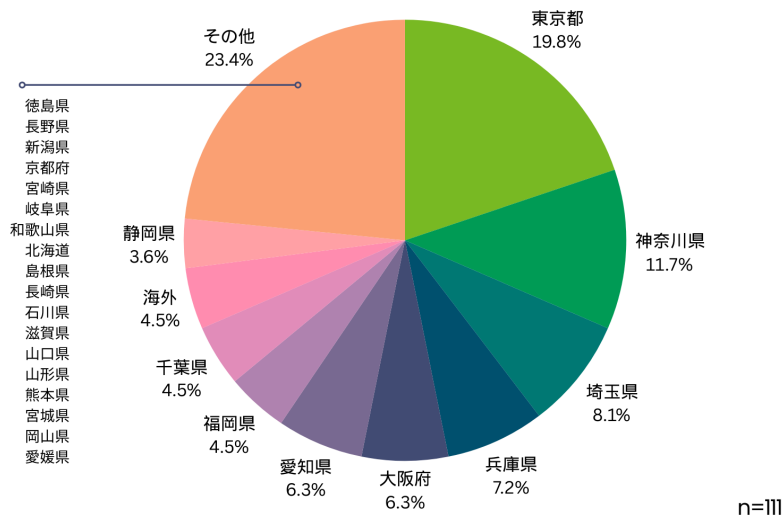
②都道府県別

現地参加申込者の都道府県別内訳

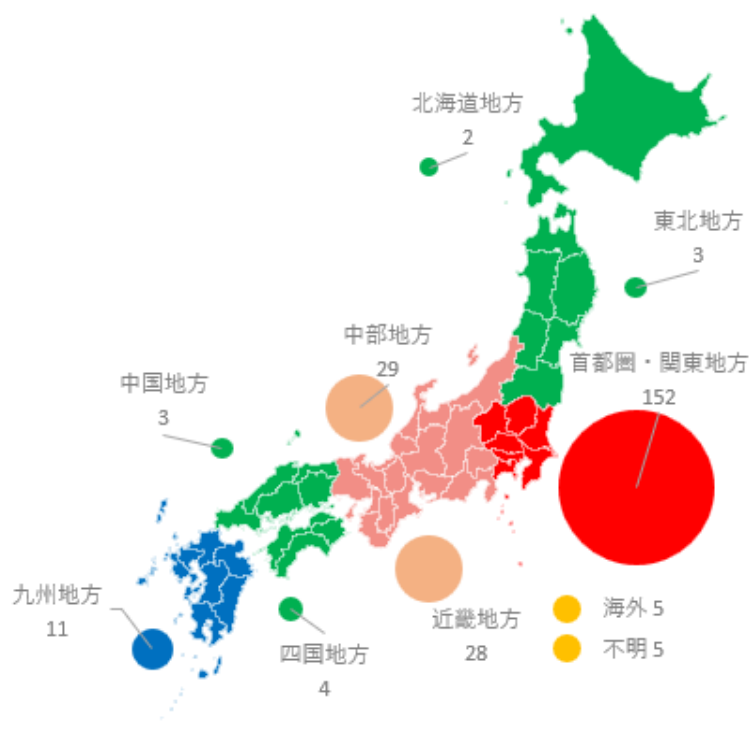


n=119

オンライン参加申込者の都道府県別内訳



現地参加申込者（n=119）の80.7%は首都圏・関東地方在住の学生でした。中には第一日目のTechnovation Girlsに参加した地方在住の学生が延泊してWaffle Festivalにも参加した例が複数見受けられました。オンライン参加申込者（n=111）は、関東・関西エリアが半数を占めた一方、全国28都道府県および海外からの参加もありました。地方別の参加者居住エリアは以下の通りです。

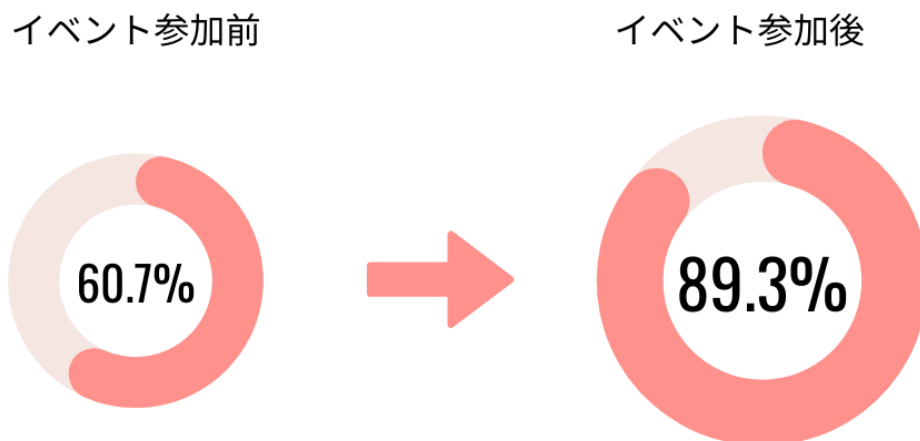


全参加申込者の63.1%は首都圏・関東地方在住の学生でした。上位3都県は東京都（84名）、神奈川県（36名）、埼玉県（19名）です。なおオンライン参加では地方在住者だけでなく海外（アメリカ4名、マレーシア1名）からの参加もあり、ハイブリット開催したメリットが活かされたと言えます。

理系進路やITキャリアへの関心度合が28%増加

理系学部や理系関連へ進路・仕事（情報科学・コンピューター、IT含む）への興味の変化に関してアンケート調査を実施したところ、イベント参加の前後で5段階評価（1=全く興味がない、5=とても興味がある）で興味の向上という結果を得ました。参加前は理系学部や理系関連への進路・仕事への興味が「4、ややある」「5、とてもある」とした回答者は、イベント参加前は60.7%でしたが、参加後は89.3%へと増加しました。

理系学部や理系関連への 進路・仕事への関心度合の変化



※ 5段階評価中4（やや興味がある）および5（とても興味がある）と回答した人の合計
(n=28)

評価の理由について、下記の回答を得ました（一部抜粋）。ロールモデルによる各種講演やワークショップへの参加を通じて、理系学部や理系関連への進路・仕事に関する理解が深まり、前向きに志望する学生が増えたことが伺えます。

イベント参加前後で進路に関する考えの変化

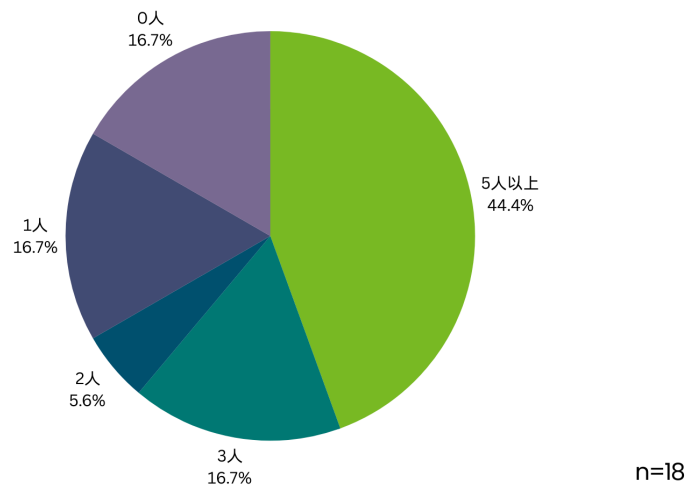
| 参加前 | 参加後 |
|-------------------------------------|---|
| 難しそう。ずっとコーディングしてるイメージ。(中学3年生) | 意外と数学が得意じゃない人も理系学部や仕事についているので、私でもいけるかな?と思い始めた。 |
| 文系と悩んでいたから。(中学3年生) | このイベントで理系進路に興味を持った。 |
| 難しい、頭がいい、男子ばかり、医者、、自分は向いてない。(中学3年生) | パソコンから広がる世界があることがわかった。難しいイメージから、ちょっとやってみたいと思えた。 |
| なんとなく気になる程度(高校1年生) | 女子でも安心していけそうな気がした。 |
| 情報系の進路を希望はしていたが、曖昧だった。(高校3年生) | 情報系を希望し、頑張ろうと思った。 |

参加者の57.9%は、他の3名以上の参加者と交流

Waffle Festival 2024 では、会場での参加者同士の交流を促すために「参加者ビンゴ」※を実施しました。これは当イベントの目的である「テックへの門戸をひらいてテック業界で働く人と目指す人をつなぎ、参加者が「背中を押された」と感じるイベントをつくる」ための施策の一つです。その結果、現地参加者を対象としたアンケートで「セッション参加中や参加者ビンゴをしている間、休憩中など、会場で初めて会った他の参加者と少しでもお話しする機会がありましたか?お話しした人数を教えてください。」と聞いたところ、参加者の57.9%は3名以上の他の学生と交流を持ったことが分かりました。

※参加者ビンゴとは、当日会場で配布した参加型ビンゴで、初対面の人と話した、登壇者に質問をした、ワークショップに参加した等計9つの設問を用意し、参加者同士の交流を促進しました。

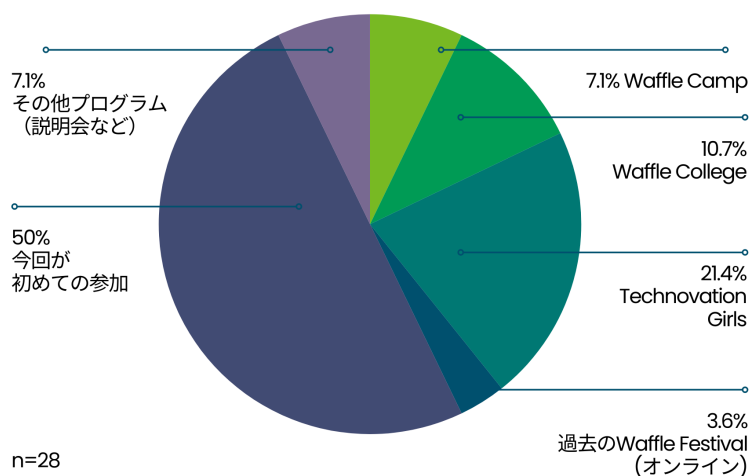
【現地参加の方へ】お話しした人数について質問です。セッション参加中や「参加者ビンゴ」をしている間、休憩中など、会場で初めて会った他の参加者と少しでもお話しする機会がありましたか？お話しした人数を教えてください。



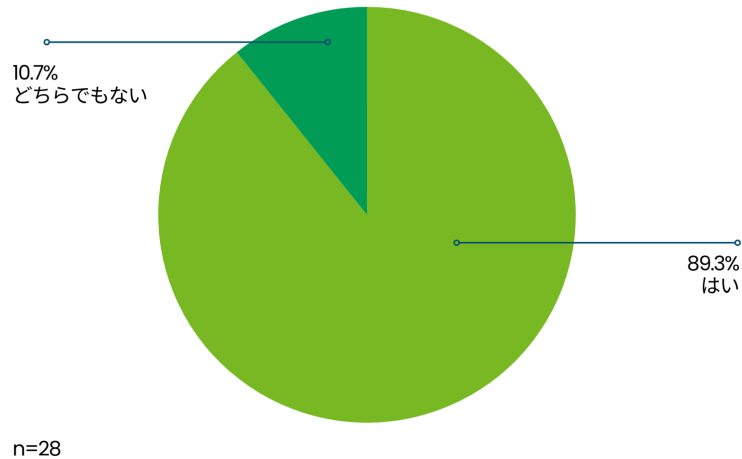
参加者の半数はWaffleのプログラムに初参加、89.3%がまた参加したいと回答

これまでのWaffle各種プログラムへの参加経験を聞いたところ、半数の参加者が今回のイベントが初参加であると回答しました。また、今後Waffle各種プログラムへ参加したいかと聞いたところ、89.3%の参加者がまた参加したいと回答しました。

これまでに参加したことのあるWaffleのプログラムがあれば教えてください。



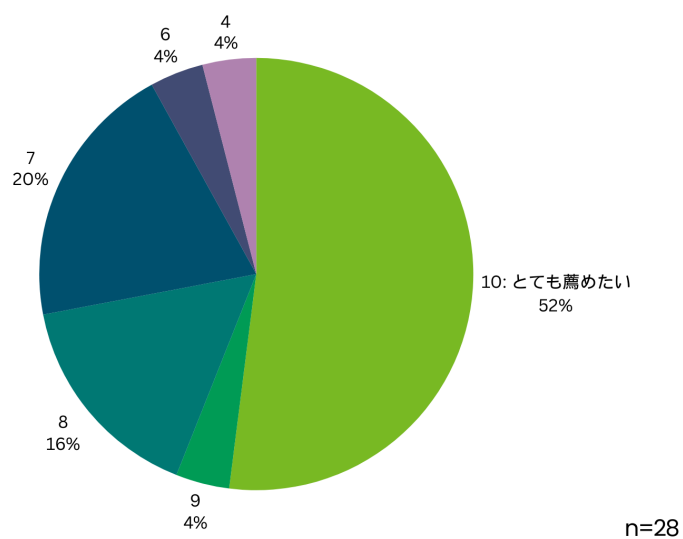
今後、Waffle各種プログラムへ参加したいですか？



「Waffle Festival」を友人に薦めたいと回答

「Waffle Festival」を今後友人や後輩に薦める可能性はどのくらいあるかを聞いたところ、0～10の11段階評価（0=全く薦めたくない、10=とても薦めたい、n=28）で平均8.4ポイントを獲得しました。なお、NPS（Net Promoter Score）は32.1でした。

「Waffle Festival」を今後友人や後輩に薦める可能性はどのくらいありますか？



参加者の声

・さらにエンジニアになりたいという思いが強くなりました。講演してくださった方々が言っていたように、高校生だからできることにたくさん挑戦していきたいと思います！その一つとして、今年のTechnovation Girlsに参加したいと考えています。

・ITは数学や学歴がないと関係がないものと思っていましたがワークショップを通じてITを身近に感じる事が出来ました。

・もっといろいろなことに挑戦してみたい！って思えるイベントでした！

・母です。パソコン1台から次は何が出来るのか？と考えていた時にピッタリなイベントを知り、今回参加しました。私も知りたい世界だったので、とても興味深い内容で、娘と共に楽しみました。まだまだたくさんの可能性を秘めているIT社会。その社会の中で育ちゆく子供たちと一緒に私も勉強していこうと思いました。（保護者）

メディア掲載情報

Waffle Festival 2024 開催に際し、会場にてMashing up、Forbes Japanの取材を受けました。また下記のメディアにて転載掲載されました。（一部抜粋）

| 媒体名・リンク | 媒体名・リンク |
|-----------------------------------|--|
| 時事ドットコム | NIKKEI COMPASS |
| PRESIDENT Online | 朝日新聞デジタルマガジン&[and] |
| 産経ニュース | 財経新聞 |
| 東洋経済education×ICT | めざましmedia |
| 東洋経済オンライン | さんにちEye 山梨日日新聞電子版 |
| 現代ビジネス | 茨城新聞クロスアイ |

協賛企業のみなさま

本イベントの開催にあたっては以下の企業様にご支援頂いており、Waffleスタッフ一同、心から御礼申し上げます。（敬称略、50音順）

スペシャルスポンサー

- ・ 在日米国大使館 (<https://jp.usembassy.gov/ja/>)
- ・ グーグル合同会社 (<https://g.co/grow/education-cs>)

ゴールドスポンサー

- ・ 株式会社サイバーエージェント (<https://www.cyberagent.co.jp/>)
- ・ ソニーグループ株式会社 (<https://www.sony.com/ja/>)
- ・ 株式会社日本総合研究所 (<https://www.jri.co.jp/>)
- ・ ユニティ・テクノロジーズ・ジャパン株式会社 (<https://unity3d.jp/>)

ダイヤモンドスポンサー

- ・ デロイト トーマツ グループ合同会社 (<https://www.deloitte.com/jp>)

シルバースポンサー

- ・ サイボウズ株式会社 (<https://cybozu.co.jp/>)
- ・ STORES 株式会社 (<https://www.st.inc/>)

ご協力

- ・ 株式会社アドウェイズ (<https://www.adways.net/>)
- ・ レノボ・ジャパン合同会社 (<https://www.lenovo.com/>)

まとめ

Waffle Festivalは、進路を考え始めた学生を対象に、ジェンダーバイアスにとらわれることなく将来の可能性を知ってほしいという思いで開催されました。知るきっかけがないと文系に流れる傾向にある、ITキャリアを選ぶ女子学生がまだまだ少ない傾向にあることから、その選択肢を彼女たちの候補に入れてほしいという観点で「Waffle Festival 2024」の狙いはそのリーチ数と参加者の意識の変化幅から見るに達成されたと言えます。ご協力いただきました団体・企業・学校・ボランティアの皆さま、参加して下さった学生と保護者の皆さまに改めて心より感謝申し上げます。最後に、Waffleでは常に業務プロセス改善を意識して次のWaffle Festivalに反映出来るように努力しており、より良いプログラムとなるようにスタッフ一丸となり運営していく所存でございます。



(Waffle Festival 2024 会場にて)

以上